平成 24 年 8 月 3 日

各位

東京都品川区東品川二丁目２番 43 号
株式会社アマナホールディングス
代表取締役社長　　進藤 博信
（証券コード：2402　　東証マザーズ）
問合せ先 コーポレートオフィス本部長 田中和人
TEL：03-3740-3500
e-mail：ir@amana.jp

# 平成24年12月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

今年2月15日に公表いたしました平成24年12月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成24年12月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績の差異（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

| | 売上高（百万円） | 営業利益（百万円） | 経常利益（百万円） | 四半期純利益又は四半期純損失（百万円） | 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失（円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A） | 8,000 | 225 | 175 | 75 | 15.08 |
| 今回発表実績（B） | 8,223 | 200 | 158 | 32 | 6.46 |
| 増減額（B－A） | 223 | △25 | △17 | △43 | △8.62 |
| 増減率（％） | 2.8% | △10.9% | △9.4% | △57.2% | △57.2% |
| （ご参考）前期第2四半期実績（平成23年12月期第2四半期） | 6,191 | 152 | 106 | △201 | △40.53 |

2. 理由

現在、当社グループでは、新たな取り組みによって事業領域を拡げ、ビジュアルの消費拡大に向けた積極的なマーケット戦略を展開しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の復興が本格化し、広告業界においても緩やかな回復傾向がみられました。当社グループにおきましては、前第3四半期連結累計期間から新たに参入したエンタテインメント映像制作事業の売上高が伸張したことにより、売上高は予想を上回りました。

しかしながら外注比率が低い広告ビジュアル制作事業の売上高が計画を下回り、外注比率が高いエンタテインメント映像制作事業の売上高が計画を上回ったことにより、外注費が増加し予想利益を押し下げる結果となりました。さらに、株式会社ポリゴン・ピクチュアズの少数株主利益が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は予想を下回りました。

なお通期の連結業績予想につきましては、平成24年2月15日に平成23年12月期決算短信にて発表しました予想から変更はございません。

以上